

武蔵野市平和の日条例制定から10周年を迎えました

市では武蔵野市平和の日条例を制定し、最初に攻撃を受けた11月24日を「武蔵野市平和の日」として定め、戦争の悲惨さ、平和の尊さを次世代に継承していくため、様々な平和のイベントを武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会と共に開催してきました。

今年は、武蔵野市平和の日条例制定から10周年を迎え、記念事業として、6年ぶりに実際に空襲があった地で行われる「平和の集い」の開催や市内在住の写真家「大石芳野写真展 瞳の奥に—戦争がある—」を吉祥寺美術館において開催しています。また、「平和の日のイベント」として、女学校時代に中島飛行機武蔵製作所に学徒動員された経験のある、歌人・文芸評論家の馬場あき子氏を迎えご講演いただきます。

■平和の集い

日時：11月23日(火・祝)午前10時～10時30分

場所：はらっぱむさしの(八幡町2-1)

定員：20名 要申込 *戦争体験者のことば、若者からのメッセージ、バルーンリリースなど

■平和の日イベント 馬場あき子氏講演会 『戦争と学徒動員』

日時：11月23日(火・祝)午後1時30分～4時

場所：武蔵野スイングホール

定員：90名 要申込 *講演の様子を後日動画で公開します。

■大石芳野写真展 瞳の奥に—戦争がある—

日時：11月28日(日)まで 場所：吉祥寺美術館

入場料：300円(中学生100円、小学生以下・65歳以上・障がい者の方は無料)

*11月23日(火・祝)、24日(水)は武蔵野市在住の方は無料



※上記詳細については、別添チラシをご覧ください。その他、「武蔵野の空襲パネル展」や「市民から寄せられた戦争関連資料の展示」も実施します。

○武蔵野市平和の日と武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会について

第二次世界大戦中、現在の都立武蔵野中央公園周辺には、航空機エンジン工場である中島飛行機武蔵製作所があり、ゼロ戦などのエンジンが作られていました。この工場を標的として、武蔵野市は米軍のB29爆撃機によって昭和19年11月24日から計9回もの空襲があり、工場の従業員をはじめ、周辺住民など多くの方が犠牲となりました。このような歴史から、市では平成23年度に武蔵野市平和の日条例を制定し、最初に攻撃を受けた11月24日を「武蔵野市平和の日」として決めました。

武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会は、平成19年度に非核都市宣言25周年を迎えたことを機に市民や学生、平和団体などで組織され、市との共催による事業を行っています。